からつ水面を知り尽くす二人がMB大賞を斬る

高木記者×なべちゃん 特別対談

「からつの予想は俺たちに任せろ！」と意気込む高木記者（左）となべちゃん

GⅡ「唐津モーターボート大賞」が7月11日から6日間にわたり開催される。A1級、A2級の好メンバーの激突は見どころ満載。決戦を前に、ボートレースからつを担当するスポーツ報知の高木拓也記者と、ボートレースからつの直前予想「ズバッと！！なべチャンネルで」おなじみの「なべちゃん」こと渡辺裕介氏がシリーズの行方を占った。（数字は6月21日現在）

SG覇者に若手が挑む展開に

―メンバーを見ての第一印象は

なべ　若手が多いなという感じ。登録4700番台くらいから半分近くいて、ベテランはかなりの好メンバー。SG覇者に、若手が挑んでいくような展開になりますかね。

高木　女子は大山千広、土屋南、小芦るり華の3人。軽量の利もありウーマンパワーさく裂と行くかも。

優勝候補筆頭はやっぱり峰竜太

―それではズバリ優勝候補筆頭は

二人とも優勝候補の本命に推す峰竜太

なべ　イチオシは峰竜太になりますね。地元の大エース。これは仕方のないところ。

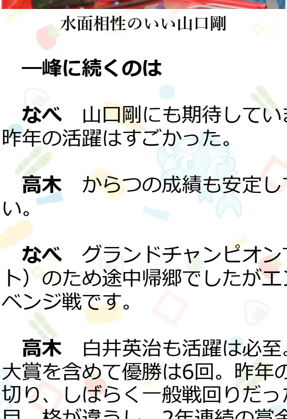
高木　なべちゃんに同感。今年の地元は正月シリーズから一般戦を3節走って3連覇中。本当に頼りになる男。

なべ　モーター運は悪いけど、最近は積極的に整備もして一発で良くなったりしている。

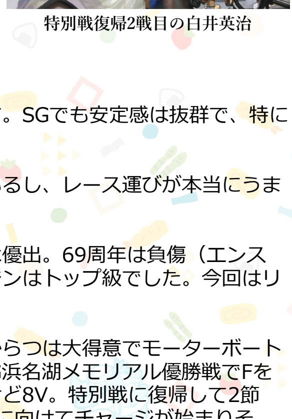
高木　峰が走ると一般戦でもお客の入り、売り上げが全然違うし、優勝した後のインタビューも盛り上がる。

なべ　特別戦初優勝ともなれば、これ以上ない盛り上がりとなることでしょう。

安定感抜群の山口剛　GP覇者・白井英治



水面相性のいい山口剛



特別戦復帰2戦目の白井英治

―峰に続くのは

なべ　山口剛にも期待しています。SGでも安定感は抜群で、特に昨年の活躍はすごかった。

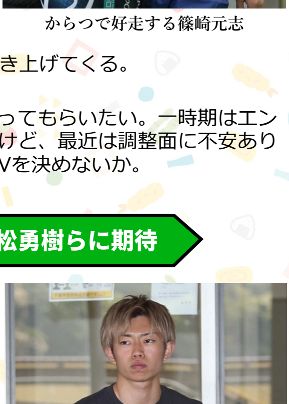
高木　からつの成績も安定しているし、レース運びが本当にうまい。

なべ　グランドチャンピオンでは優出。69周年は負傷（エンスト）のため途中帰郷でしたがエンジンはトップ級でした。今回はリベンジ戦です。

高木　白井英治も活躍は必至。からつは大得意でモーターボート大賞を含めて優勝は6回。昨年のSG浜名湖メモリアル優勝戦でFを切り、しばらく一般戦回りだったけど8V。特別戦に復帰して2節目。格が違うし、2年連続の賞金王に向けてチャージが始まりそう。

近況いい吉田拡郎　からつ好相性の篠崎元志

―他で優勝争いに加わってきそうな選手は



からつで好走する篠崎元志

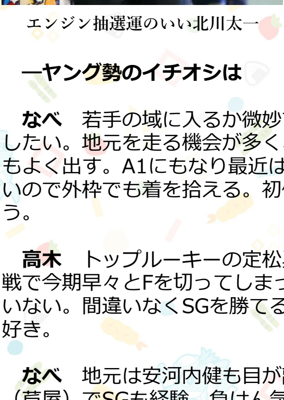
なべ　蒲郡68周年を差して勝った吉田拡郎も注目の一人。エンジンが出たときはパンチ力がある。まくりもありますしV争いには絡んでくるでしょう。

高木　篠崎元志もやるはず。抜群のセンスを誇り、大けがしなければ既にグランプリを制覇していたかも。特別戦は5優出で一般戦は4Vの活躍。からつ好走組の一人。

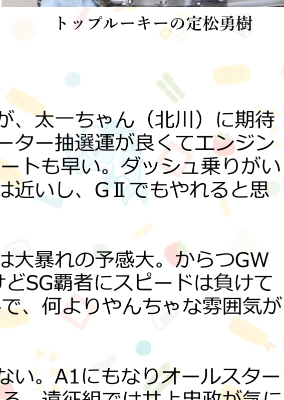
なべ　赤岩善生は5月に走った強みがある。大したエンジンでなくても、整備力を発揮して舟足を引き上げてくる。

高木　地元は上野真之介にも頑張ってもらいたい。一時期はエンジンも出て特別戦でも安定していたけど、最近は調整面に不安ありでヒットがない。そろそろ特別戦初Vを決めないか。

若手は地元の北川太一や定松勇樹らに期待



エンジン抽選運のいい北川太一



トップルーキーの定松勇樹

―ヤング勢のイチオシは

なべ　若手の域に入るか微妙ですが、太一ちゃん（北川）に期待したい。地元を走る機会が多く、モーター抽選運が良くてエンジンもよく出す。A1にもなり最近はスタートも早い。ダッシュ乗りがいいので外枠でも着を拾える。初優勝は近いし、GⅡでもやれると思う。

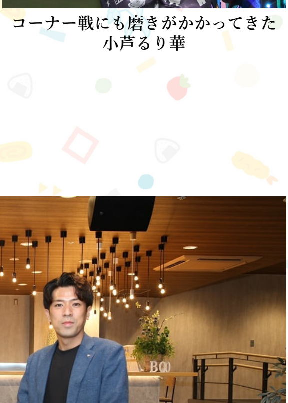
高木　トップルーキーの定松勇樹は大暴れの予感大。からつGW戦で今期早々とFを切ってしまったけどSG覇者にスピードは負けていない。間違いなくSGを勝てる選手で、何よりやんちゃな雰囲気が好き。

なべ　地元は安河内健も目が離せない。A1にもなりオールスター（芦屋）でSGも経験。負けん気もある。遠征組では井上忠政が気になる。昨年の当地ルーキーシリーズで優出。果敢に攻めて1着数も多い。強気のレーススタイルはおもしろい。

高木　6月に当地初優勝した佐藤博亮も侮れない。4月はパンチある17号機で優出。まくりもありで攻め幅の広さは支持できる。昨年、芦屋GⅡモーターボート大賞を含めて10Vと大活躍した新開航は、6月は常滑一般戦、鳴門GⅢウエスタンヤングを連覇。今年は3優勝と好調持続。クレバーな走りは魅力。

若手は地元の北川太一や定松勇樹らに期待

―女子は3人が参戦

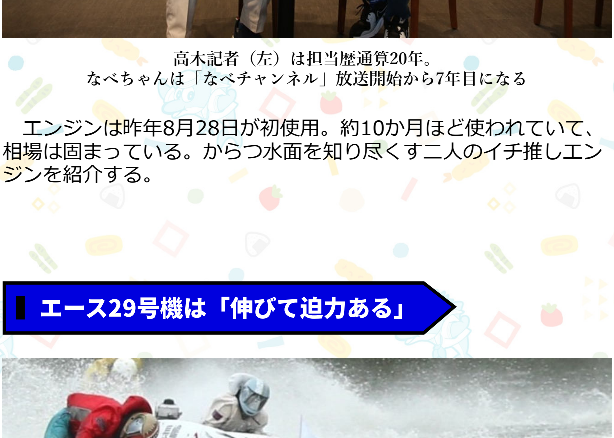


コーナー戦にも磨きがかかってきた小芦るり華

なべ　大注目は小芦ですね。最近はピット離れの良さも武器にしている。舟足の仕上がりも早く、ホームプールで強豪を相手にどこまでやれるか楽しみ。ただ、ウエスタンヤングでFを切ってしまったのは痛い。

高木　最近はコーナー戦に磨きがかかっている。道中しぶとく粘って存在感は示すはず。

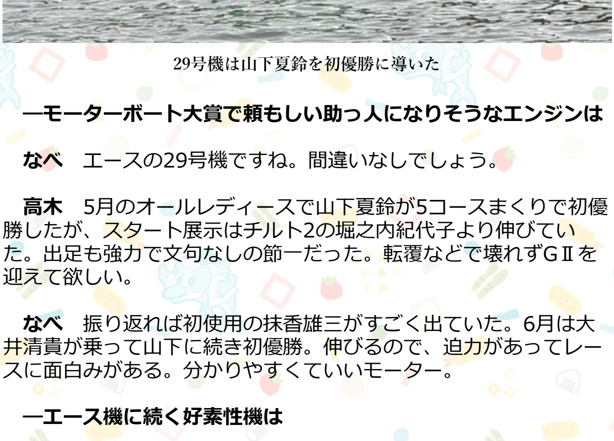
なべ　大山もF持ちですがターンスピードがある。女子は少数ですけど精鋭。土屋を含めて全員が活躍してもおかしくはない。



高木記者（左）は担当歴通算20年。
なべちゃんは「なべチャンネル」放送開始から7年目になる

エンジンは昨年8月28日が初使用。約10か月ほど使われていて、相場は固まっている。からつ水面を知り尽くす二人のイチ推しエンジンを紹介する。

エース29号機は「伸びて迫力ある」



29号機は山下夏鈴を初優勝に導いた

―モーターボート大賞で頼もしい助っ人になりそうなエンジンは

なべ　エースの29号機ですね。間違いなしでしょう。

高木　5月のオールレディースで山下夏鈴が5コースまくりで初優勝したが、スタート展示はチルト2の堀之内紀代子より伸びていた。出足も強力で文句なしの節一だった。転覆などで壊れずGⅡを迎えて欲しい。

なべ　振り返れば初使用の抹香雄三がすごく出ていた。6月は大井清貴が乗って山下に続き初優勝。伸びるので、迫力があってレースに面白みがある。分かりやすくていいモーター。

―エース機に続く好素性機は

なべ　17号機ですね。昨年10月に岡村仁が優勝。最近も森野正弘、優出した北川太一が噴いていた。勝率、2連対率こそ傑出していないが全体的に余裕ありの感じ。

高木　28号機も底力を秘めている。4月の男女混合戦で小芦るり華が優出した時はピット離れが強力。その後も武富智亮、関野文が優出。今垣光太郎は目立たなかったけど出足は悪くなかった。

伸びる67号機 復活ムードの37号機 上り調子の11号機など注目

―他で噴きそうなのは

なべ　伸び系で注目は67号機。オールレディースで優出した喜井つかさ、乗り継いだ田路朋史、寺田千恵もスリット近辺でのぞいていた。

高木　37号機は復活ムードが漂う。元エース機で一時は機力変調していたけど、4月の新ペラ交換後は出足系がしっかりしている。1着数ではトップを走る。

なべ　11号機はGW戦の上野真之介から、小芦、田中信一郎、牧山敦也（初優出）と4節連続ファイナル進出。優勝こそないけど優出は7回もある。上り調子で目が離せない一基。

高木　初下ろし節で安河内将、3月に島村隆幸が優勝の46号機も力強さあり。冬場はパワーダウンしていたが大整備の効果もあって復活ムード。旋回後の立ち上がりは俊敏。

なべ　峰竜太が立て直して優勝した45号機と30号機にも注目したい。

高木　確かに。45号機は實森美祐から新ペラになったけど、松尾拓（優出）も好気配だった。30号機は峰の後に使用の横田貴満、田中宏典が舟足に合格点。劣勢さは完全に解消されている。

なべ　あと66号機も上位ランク候補。2月のヴィーナスシリーズを制した西橋奈未は、すごくいい足をしていた。素性は良さそう。